Fast buccal tablet.

Publication number: JP4502318 (T)

Publication date:

1992-04-23

Inventor(s):
Applicant(s):

Classification:
- international:

A61K31/135; A61K9/00; A61K9/20; A61K31/275; A61K31/40;

A61K31/46; A61K31/48; A61K31/495; A61K31/565;

A61K31/57; A61K38/00; A61K45/00; A61K47/26; A61K9/20; A61K31/135; A61K9/00; A61K9/20; A61K31/275; A61K31/40;

A61K31/46; A61K31/48; A61K31/495; A61K31/565;

A61K31/57; **A61K38/00**; **A61K45/00**; **A61K47/26**; A61K9/20; (IPC1-7): A61K9/20; A61K31/135; A61K31/275; A61K31/40; A61K31/46; A61K31/48; A61K31/495; A61K31/565; A61K31/57;

A61K37/02; A61K45/00; A61K47/26

- European:

A61K9/00M18B

Application number: JP19890501287 19891128 **Priority number(s):** US19880278099 19881130

Abstract not available for JP 4502318 (T)

Abstract of corresponding document: EP 0371466 (A1)

A fast dissolving buccal tablet for administering a medicament includes the active ingredient, a lubricant and a water soluble sugar, such as sorbitol, combined such that the buccal tablet dissolves in about one minute.

Data supplied from the **esp@cenet** database — Worldwide

Also published as:

EP0371466 (A1)

ZA8909070 (A)

🗓 US5073374 (A)

风 WO9006136 (A1)

NZ231570 (A)

more >>

四公表特許公報(A)

9日本國特許庁(JP)

平4-502318

@公表 平成4年(1992)4月23日

@Int. Cl. 5

盎别紀号

宁内整理番号

李 杏 請 求 未請求

部門(区分) 3(2)

9/20 A 61 K 31/135 31/275

7624-4C 8413-4C 8413-4C* U

子備審査請求 有

(全 4 頁)

連効性パツカル錠 64発明の名称

> 頤 平2-501287 20符

69629出 頤 平1(1989)11月28日 **匈翻訳文提出日 平3(1991)5月30日**

國国際出願 PCT/US89/05260

匈国際公開番号 WO90/06136

向国際公開日 平2(1990)6月14日

優先権主張 @1988年11月30日@米园(US)@278,099

何発 明 者 マツカーテイ、ジョン・エイ アメリカ合衆国フロリダ州33161, ピスケイン, ハンドレッドトウ

エンティフアースト・ストリート 630 ノース・イースト

シェリング・コーポレーション の出 題 人

アメリカ合衆国ニュージヤージー州07033, ケニルワース, ギヤロ

ツビング・ヒル・ロード 2000

00代 理 人 外6名 弁理士 湯浅 恭三

卵指 定 国

AT(広域特許), AU, BB, BE(広域特許), BF(広域特許), BG, BJ(広域特許), BR, CF(広域特 許), CG(広域特許), CH(広域特許), CM(広域特許), DE(広域特許), DK, ES(広域特許), FI, FR (広域特許), GA(広域特許), GB(広域特許), HU, IT(広域特許), JP, KP, KR, LK, LU(広域特 許),MC,MG,ML(広域特許),MR(広域特許),MW,NL(広域特許),NO,RO,SD,SE(広域特許), SN(広域特許), SU, TD(広域特許), TC(広域特許)

最終頁に続く

対求の低期

- 1 水放性は影響を含む後葉用パッカル袋。
- 2. パッカル錠の鉱水管性蔵影剤がソルビトールである頭求項(記憶の医薬用バ
- 3. 医裏上許容しうる腐滑剤をさらに含む、防水項1若しくは2のいずれかに記 数の包裹用パッカル袋。
- 4、盆園滑翔がステアリン量マグネシウム若しくはドデシル破壊ナトリウムから 選択される。韓文項3記載の医薬用バッカル袋。
- 5. は歴度系がドデシル破離ナトリウムである、既求項1、2若しくは4のいず れたに夕前の原葉田バッカルは。
- 6. 活性成分としてさらにエストロゲン、プロゲスチン、甲状腺中ルモン、緩緩
- 剤、エルゴタミン誘導体、プロモクリプチン。pli感受性ペプチド及び小分子量質
- 白、フィソスチグミン、スコポラミン、ベラバミール若しくはガロバミールを含
- む、請求項1、2者しくは4配職の医薬用パッカル段。
- 7. 活性成分と水溶性試影剤を混合することを含む、便服用パッカル錠の製造方
- 8. 鉱水存性賦影解がソルビトールである、黄水項7記載の方法。
- 8、 医嵩上許容しうる商庁財をさらに基合することを含む、請求項7若しくは8 のいずれかに記載の方法。
- 10. 医漏上許安しうる註局滑剤がステアリン機マグネシウム苦しくはドデシル破 **曲ナトリウムである。請求項を記載の方法。**
- 11、 旅店性成分がエストロゲン、エルゴタミン誘導体、プロモクリプテン、98番 受性ペプチド及びか分子量蛋白、フィソスチグミン、スコポラミン、ペラパミー ル若しくはガロパミールである、請求項で、8若しくはiOのいずれかに記載の方
- 12. 実質的に上に述べられている医薬用パッカル組成物。
- 13. 実質的に上に迫べられている医囊用パッカル組成物を製造する方法。

速効性パッカル錠

発明の概要

本意明は、ソルビトールを必須成分とする賦影剤及び飼育剤と組み合わさった 、有効量の話性成分を含むパッカル線に関する。本位剤は、予期せぬような非常 に迅速な器物放出をもたらし、活性成分の非語口数与に匹敵する血中濃度を与え

発明の質素

本出版は、活性成分のパッカル投与用の設務に関する。他の非注射(疑口役与) 方式による数与で低いパイオアペイラビリティーしか示さない活性成分につい ては(栓与対象者の頬内の揺みの中への)パッカル投与は特に有用である。この アペイラビリティーの低さは、暴管を迅速する際の窓解度の低さや酵素による分 終あるいは酸による分解、若しくは胃腸管から吸収された後の肝寒素による初期 温温分解が厳密と考えることができる。このような裏側の例には、エストロゲン 、男えばエストラジオール並びにその塩、及びそのパレレート、シピオネート岩 しくはプロピオネートの形の誘導体、プロゲステロン及び関連化合物等のプロゲ スチン、アンドロゲン及び蛋白関化ステロイド等のステロイド環:プロプラノロ ール:甲状醇ホルモン;モルヒネ及びモルヒネ財母体、フェンタニル及びスルフ ュンタニル等の鎌倉剤;エルゴタミン誘導体(片取締治療用);プロモクリプチ ン(パーキンソン病治療用):インシュリン及びACTH等のpH感受性ペプチド及び 小分子重蛋白;フィソスチグミン;スコポラミン;ベラバミール;及びガロバミ ールがある。良好な盛口パイオアペイラビリティーを持つ化合物をパッカル役与 することも可能であるが、遺常そのような重数は便宜上級口収与される。

エストラジオールのパッカル役与は非常に早い血中重度ピークをもたらし、美 度はその後ゆっくりと低下する。これは体内におけるエストラジオールの自然な 見理をなぞるものであり、それゆえに比較的一定な点中レベルをもたらす経皮投 与よりも改善されている。エストラジオール等のエストロゲンの盛日投与は、舌

性成分が腎臓管から吸収された後蓋ちに肝臓中で分解されるために実用的ではない。

船どのパッカル処方は、恁性成分を持続的に放出させ、それにより枚素影型の 開始による活性成分の飲み下しを防ぐように設計されている。他のパッカル処方 には、パッカル段の崩壊を早めるように崩壊解を使用するものがある。そのよう な崩壊解には、コーンプラム及びストゥーパック(Kornblus and Stoopak)、ジャーナルオブファーマシューティカルサイエンシス(J. Phara. Sciences)、62 他、第43-49頁、1973年:米国特許多 1,380.171号:カーン及びルーク(Khan a od Rooke)、マニュファクチャリングケミストアンドエアゾールニュース(Mfg. Chemist & Aerosol News)、1976年1月:及びカーン及びルーク(Khan and Boo ke)、ジャーナルオブファーマシューティクスアンドファーマコロジィ(J. Pha ra. Pharmac.)、28他、釘 633-636頁、1976年に設示されているように、ポリピ ニルポリピロリドン、デンブン、アルギン酸、ホルムアルデヒド、カルボキシメ チルセルロースカルシウム、グリコール職ナトリウムデンブン、及びカルボキシ メチルセルロースナトリウムがある。

本出現人は、居住成分をパッカル延島を通じて予期せぬほど迅速に放出する途 効性パッカル処方を発見した。パッカル処方からのこのような迅速な放出は、血 中レベルの急速な上昇をなし達けるための大用量の放出に役立つ。さらに予期せ ぬことに、はパッカル促からの高値の迅速な放出は、他のパッカル設において急 者が収置影響のまま飲み下すのを防ぐために必要な後着料を不必要にする。その ような接着料金有性パッカル設は、例えば、米国特許第 4,755,386号、米国特許 第 4,059,685号、米国特許第 4,292,299号、及び米国特許第 4,226,848号に関示 されている。

発明の詳細な説明

本急速溶解性パッカル処方は以下の3成分を必須成分として含むことができる :パッカル吸収可能な活性成分(額)、医素上許容しうる調滑剤、及び直接圧縮 可能な可溶性溶剤用収蒸剤。

駄可応性試影剤は適常、スクロース変しくはラクトース等の数である。好ましい鎖はソルビトール、特に約90ないし98パーセントの応國の量のソルビトール N

XXX	成分	
0, 2	エストラクオール、USP	2.0 g
98. 8	ソルビトール M. P.	988. 0 g
1.0	ドデシル乾酸ナトリウム	10. 0 g
100.00		

的1000 PSIの圧縮圧を用いて、約0.05g/錠の重量の錠剤を要達する。本パッチから約20,000錠が得られ、これらは数与時には約1分以内に崩壊する。鉄錠剤の 直径は約1/4 インチである。

来指册2

先の實施例」に述べた方法を用いて、下配の書」に記載する戦形制を用いてバッカル線を製造する。各打設操作は、500、1000苦しくは2000 psiの圧縮圧で適 室行う。インピトロ劇域状験の結果では、各処方から約1分以内に降解するバッカル線が製造されることが示されている。下記のソルピトールの量は、居性成分が透加できるように減らされねばならない。例えば、エストラジオールの通常量は 0.2営業がであるため、ソルピトールの量は 0.2対域らざれることになろう。例えばスコポラミン等の異なる活性成分を用いる場合、ソルピトールの含有量はそれに応じて減らされる。

紅 ステアリン酸 ドデシルを命 ソルビトール N. F. マグネシウム (X B/V) ナトリウム (X B/V) (\$ #/W) ____ 88.0 0 2.0 ٥ 87. 0 3. 0 1.0 0. Z 98. 8 97. 8 0, 2 2.0 96.8 0. 2 ... 0.5 1. 0

. P. 及び/又はスプレードライドソルビトールである。 証可容性展影類には、 鍵水性感性用のビヒクルも含まれる。このようなビヒクルには宣延付近で融解する 固体及び界面感性剤がある。この考え方は、界面感性剤中のミセル可溶化により、あるいは証可的性器物をその中に含んだ、体質付近で進化する固体を有することにより、 若しくはそのような界面感性剤及び固体を組み合わせて用いることのいずれかにより、不存性悪物の溶解性を改善するためにこれらのビヒクルを用いるというものである。通過な界面感性剤にはブルコニック、トゥイーン類、ラクリル収除ナトリウム等があり、通過な液化固体には増々のポリエチレングリコール、 低触点グリセリド (好ましくは約25ないし45での触点を持つ)及び様々の座置蓋剤があり、これらは色量者に貫知である。

本温効性パッカル処方に使用される調度剤は、ステアリン酸マグネシウムをし くはドデシル鍵酸ナトリウム等の通常のいずれの調度剤でもよい。一般に、装置 滑剤は水溶性であることが望ましい。そこで、好ましい耐度剤は前しないしまパ ーセントの範囲の量のドデシル複酸ナトリウムである。

本免別において有用な感性成分としては発明の背景で述べたものがある。含有量は、所定の治療に対して求められる用量に応じて異なってよい。 低性成分としてエストラジオールを用いる場合は、 | 反当たり約50マイクログラムないし約2ミリグラムの範囲の量で用いる。

本見明の処方は、単に成分を合わせて混合し、数混合物を必要差すつ設別形態に圧縮することにより型達することができる。望ましい最終的製剤は約4分のイインチ(0.635 cm)の運径と約0.05インチ(0.127 cm)の厚みを持ち、数与時には約30分ないし約5分、好ましくは約4分以内に崩壊するようなものである。

本発明を、以下の非限定例により具体的に説明する。

衰萬烈山

以下の成分を増強パードV夏ブレンダーを用いて品和し、約5ないし10分間盈 会する。

97. 5	0, 5	2.0
96, 5	0, 5	3. 0

実施例3

下記の数2に示す賦影剤を含有する処方により、先の実施例中のソルビトール 以.P. モスプレードライドソルビトールに代えて実施例1の方法を使用し、約1 分以内に哲性成分を放出するパッカル碇を取るする。

表2				
スプレイドライド	ステアリン酸	ドデシル就職		
ソルビトール (S R/T)	マグネシウム (5 型/型)	# 1 1 2 A (\$ 1/1)		
96. 8	0. 2	3. 0		
97, 5	0. 5	2, 0		

上記の勢方及び劇場データに基づけば、ここに述べた遺物性パッカル般はパッカル般な可能な感性成分を約1分以内にそのような治療が必要な思考に対して放出するであろう。

ここに述べた発明に従って活性成分を改与するには、連効性パッカル配を口聴 内の頭の強み中に入れて溶解させるだけでよい。裏物は溶解後、金身に放出される。

表物のこのような迅速な放出は、作用の迅速な関節が求められる場合に特に重要である。例えば、乗り物酔いによる不快感を和らげるためのスコポラミンの迅速な改写は好ましい適用の1つである。同様にエストラジオールの迅速な放出は、持られる裏物動態が自然に配こる女性ホルモンの放出と資産を模倣するという点において重要である。

本発明の詳細な説明及び幾つかの好ましい意復を上に示したが、本発明はそれ らに限定されるものではなく、むしろ以下の歴史の範囲に定義される。

特表平4-502318(3)

補正書の翻訳文提出書 (特許法第184条の8)

平成 3年 5月30日

特許庁長官 植松 敏 殿

1. 特許出願の表示

適

PCT/US89/05260

2. 発明の名称

速効性パッカル錠

- 3. 特許出顧人
 - 住 所 アメリカ合衆国ニュージャージー州07033. ケニルワース、ギャロッピング・ヒル・ロード 2000
 - 名 称 シェリング・コーポレーション
- 4. 代 理 人
 - 性 所 東京都千代田区大手町二丁目2番1号 新大手町ビル 206区 電 話 (3270) 6641~95646 氏 名 (2770) 弁理士 湯 浅 恭 三世 原町
- 5. 補正書の提出日

平成3年 2月28日

- 6. 添付書類の目録
 - (1) 補正書の翻訳文

第 件 介 3 5 31 国际出版室

国 泉 同 主 税 告

PCT/US 89/05260

I. CLASSIFICATION OF BUILDICT MATTER of most desiration system state.				
		Configura (IFC) a to last friends		
		A61847/26 ; A6189/20		
E. 19/2.0	STARCHED			
_		سنا مسنه	unite harded	
-		1	Cupitanto System	
Int.	C1. \$	A63R		
		Processor Service of	o any likelana Dagamapina ny kaopini io io Pinip Laudori	
		o to be bid. (vant)		
Comment.	Out of the			Section to Chan by 4
I	FR.A.2175853 (PFIZER CORP.) 26 October 1973 tee the whole document		1-4. 7-10. 12. 13	
^	GB,A,2188843 (RECKETT AND COLMAN PRODUCTS LTD) 18 October 1907 see claims			1-11
A	WO.A.8704342 (REY PHARPACEUTICALS INC.) 30 July 1997 Per cislas 6 US.A.4755386		1-13	
** Special analysis of third discounts (**) **A demonstrational discounts (**) **A demonstration debug is prought for an other to an other to an other to be proposed to be proposed to an other to be proposed to be pro				
*** Commercial and the make in planty district in a class of the class				
			Name of States of the Investment Second	
26 FEBRUARY 1990 D 3 APR 1990				
CIROPEAN PATTAT OFFICE.				

5. 該局投稿がドデシル就験ナトリウムである、請求項(記載の医案用パッカル・

6. 低性成分としてさらにエストロゲン、プロゲスチン、甲状腺ホルモン、鎮痛

剤、エルゴタミン酵導体、プロモクリプチン、pH感受性ペプチド及び小分子量強

白、フィソスチグミン、スコポラミン、ペラパミール若しくはガロパミールを含

む、請求項1記載の医囊用パッカル袋。

11. 蚊話性成分がエストロゲン、エルゴタミン誘導体、プロモクリプチン、911感 受性ペプチド及び小分子量蛋白、フィソスチグミン、スコポラミン、ペラパミー ル若しくはガロパミールである、胃水項で記載の方法。

四 麻 男 主 电 告

US 8905260 SA 32907

This same than the purport handy associate privating in the potent description days in the above-manufactural transverse armony. The associates were or position in the European Related College (III Pills or The Companies Associated College (III Pills or III Pills or III College (III Pills or III Pills o

Parent Services April 10 April 10 April 10		<u> </u>	-	
FR-A-217585)	26-10-73	AU-A- BE-A-	\$286273 796360 23115\$2	05-09-7 06-09-7 13-09-7
CB-A-2188843	14-10-87	AU-A- EP-A- US-A-	7141087 0245952 4829056	15-10-6 19-11-6 09-05-8
WO-A-8704342	30-07-87	US-A- AU-A- EP-A- JP-T-	4755386 6849887 0255827 63502187	05-07-8 14-08-8 17-02-8 24-08-8

I for more dends along this source ; see Official Joseph of the European Printer Office, Fro. 17

動Int. Cl. \$ 識別記号 庁内	
eyitt. Ct.	整理番号
31/46 7 31/48 7 31/495 7 31/565 7 31/57 7 37/02 8	475-4C 252-4C 252-4C 252-4C 252-4C 252-4C 317-4C 415-4C 624-4C